

シルバー はちまんたい

No.6

2026(令和8).9.1

公益社団法人

八幡平市シルバー人材センター

〒028-7301

岩手県八幡平市野駄 20-36

(電話) 0195-68-7847

(ファクス) 0195-68-7848

(Eメール) hachimantai.@sjc.ne.jp



派遣に係る説明会を開催

8月19日、センター事務所会議室で、派遣に係る会員説明会を開催しました。

この説明会は、県シルバー人材センター連合会と事業所様との間で締結する労働者派遣契約に基づき、当センターの会員が9月から11月(予定)までの就業に向けて開催したもので、出席した皆さんは、就業場所や就業内容などを確認しました。

今回の派遣作業は、1日につき3人程度が交代で市内の高原にある農場に出かけ、生薬の調製や選別作業を行う予定です。



作業内容を確認する会員の皆さん

活動紹介

温泉郷の快適な環境を維持



しらかばの森周辺道路の草刈りを行いました

当センターでは、八幡平温泉郷を縦横に走る道路沿いの草刈りも行っています。

8月上旬には、市の依頼で八幡平温泉郷内の市道約10,400mの区間、約8,700㎡の草刈りと集草処分を行ったほか、株式会社八幡平温泉開発様の依頼で「八幡平温泉郷しらかばの森」周辺の草刈りを実施。会員の皆さんは、30度を超える暑さの中、温泉郷内を碁盤の目のように縦横に走る道路周辺の草刈り作業に汗を流しました。

全国統一安全就業スローガン(佳作)「慣れるほど 初心にかえり 基本から」

前回に続き、東京都健康長寿医療センター研究所の調査結果を基に(株)社会保険出版社が制作したリーフレットを紹介します。

今回は、事故の実態と原因です。

1点目は「行き帰りの移動に注意」。就業中と同じくらいの注意が必要です。急ぎや疲れで、注意散漫になりがちです。

2点目は「高い足場での作業に注意」。植木剪定や高所作業など、脚立が立てにくい場所で枝やフェンスなどに足をかけて転落する事故が多く発生しています。

3点目は「夏場の熱中症に注意」。日陰や休憩場所がない作業では、気づかずに脱水や熱中症になるリスクがあります。



転倒
+ すり傷・切り傷
+ 打撲・ねんざ
+ 骨折
こんなとき、こんな所で、こんな動きに **注意!!**
最も多いのが転倒事故。頭を打って、大けがをする場合もあります。

1 行き帰りの移動に注意



就業中と同じくらいの注意が必要。行きは急いでいたり、帰りは疲れていたりして、注意力が散漫になりがちです。小さな段差や右左折時、または何かをよけようとした拍子などにバランスを崩しがちです。

2 高い足場での作業に注意



植木せん定など、**脚立が立てにくい場所**でフェンスなどに足をかけて転落したり、**脚立の天板に立ったり**。脚立を正しく使い、ヘルメットと安全帯の装着を。

3 夏場の熱中症に注意



日陰や休憩場所がない作業では、気づかずに脱水や熱中症になるリスクがあります。自分は大丈夫と思わず、お茶や水、炎天下では補水液、塩あめなどのこまめな補給と冷感グッズなどの活用を。

(出典：「楽しく、安全に働くための注意とアドバイス」

東京都健康長寿医療センター研究所／東京都シルバー人材センター連合)＝無断転載禁止＝

事務所だより ある会員さんが、就業で使う機械(片手大の大きさ)を車の屋根に置いたまま発車。その機械は途中で車から落下しましたが、幸いにも後続車の人が拾って駐在所に届け、機械もスリ傷程度で

済みました。後日、機械を一時紛失した会員さんを口頭で注意しながら、自分も数年前、水筒を車の屋根に置いたまま発車し、紛失したのを思い出しました。人の事は言えないものですね。皆さんも置き忘れにはご注意ください。